

# 日本遊戯療法学会 オンライン学術集会 ご案内

テ ー マ：「コロナ禍における遊戯療法

—私たちはこの危機をどう乗り越え活かしていくか—」

日 時：2020年12月20日（日） 13時～18時30分

（Zoomを使用したオンライン開催）

参加資格：本学会会員のみ（定員100名）

参加費：3000円

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、本学会においても大会や研修会が開催できない状況が続いておりましたが、理事会で検討した結果、この度、オンラインによる学術集会を行う運びとなりました。

テーマは、「コロナ禍における遊戯療法」です。私たちは、コロナ禍にあって、遊戯療法を行ううえで、さまざまな困難に直面しています。この困難を乗り越えていくために、どのような実践を行っていけばよいか、知恵を出し合い、日々の心理臨床に活かしていくことができればと考え、この学術集会を企画いたしました。

当日は、まず、4名の先生方からそれぞれの臨床現場での実践について話題提供いただき、これに続くグループディスカッションでは、小グループで皆さまに、コロナ禍において遊戯療法を行っていく際に留意していること、この状況に応じて行っている工夫、さらには新たな試み等々の臨床実践について、情報交換・意見交換をしていただき、最後にそれを全体で共有するという流れです。この学術集会が、さまざまな困難を乗り越え、さらには、この経験を活かしていくためのヒントを得る機会になればと思っています。

本学会として、初めてのオンライン学術集会、多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

理事長 横山 知行

## プログラム

- 13:00 開会挨拶 横山知行理事長  
山中康裕会長によるメッセージ
- 13:10~14:50 話題提供  
緊急時のリモートによる遊戯療法的支援について  
岡田絵美 先生（宮城県スクールカウンセラー）  
児童相談所のコロナ対策と遊戯療法  
桜井亮平 先生（川崎市こども家庭センター）  
オンラインによる PCIT（親子相互交流療法）  
國吉知子 先生（神戸女学院大学）

大学附属相談室のオンラインセラピーの試み—大阪府立大学の取り組み—

川部哲也 先生 (大阪府立大学、大学附属相談施設)

14:50～15:40 指定討論 伊藤良子 先生 (帝塚山学院大学)  
倉光 修 先生 (放送大学)

(休憩)

15:50～17:00 グループディスカッション 説明の後、グループに分かれていただきます。

(休憩)

17:10～17:35 各グループからの報告

17:35～18:25 総合討論

18:25 閉会挨拶 瀧口俊子 研修委員会委員長  
総合司会 黒川嘉子 事務局長

#### <話題提供概要>

##### 「緊急時のリモートによる遊戯療法的支援について」

岡田絵美先生 (宮城県スクールカウンセラー)

仙台セラピ・ド・ジュ研究会は、被災地の子どもたちのケアを目的とした遊戯療法と保護者カウンセリングを継続して行っている震災支援団体ですが、新型コロナウイルスの流行により対面活動の休止を余儀なくされました。しかし、震災を経験した子どもたちの不安や喪失感の再燃、症状の再発を想定し、支援を継続するための方法を模索しました。2020年3月より試行錯誤しながら導入した、リモートによる遊戯療法的支援活動について報告します。

##### 「児童相談所のコロナ対策と遊戯療法」

桜井亮平先生 (川崎市こども家庭センター)

緊急事態宣言解除後は、プレイルームの換気、おもちゃ類を含む室内の消毒、セラピストもクライアントもマスク着用のルールとなりました。待合スペース、複数のプレイルーム、保護者面接をする部屋などが密集せず、恵まれた施設のため、ほぼ通常どおりにプレイセラピーをしています。学校等と連携する場面では、子どもの様子を動画で観ながらカンファレンスをしています。動画が編集されることによって、直接観察するよりも問題点が浮かび上がってきやすい面もあると感じています。オンラインの反動か、子どもたちは遊ぶことを一層求めているように感じています。

##### 「オンラインによる PCIT (親子相互交流療法)」

國吉知子先生 (神戸女学院大学 / PCIT-Int'l 認定 L1 トレーナー)

PCIT は米国で開発された遊戯療法を基礎とした行動療法で、子どもと遊ぶ親に別室からライブコーチングを行い、親子関係の改善と子どもの問題行動低減を促進する効果的セラピーです。実はコロナ禍以前から米国では遠方の親子を対象とした“インターネット PCIT (I-PCIT)”が開発されていました。それを受け、本学では遊戯療法実施が困難なこの状況下、I-PCIT を導入しました。With コロナ時代の遠隔遊戯療法の一形態として、I-PCIT の方法や実践についてご紹介させていただきます。\*PCIT : Parent-Child Interaction Therapy

## 「大学附属相談室のオンラインセラピーの試み—大阪府立大学の取り組み—」

川部哲也先生（大阪府立大学）

緊急事態宣言とともに、大学は構内立ち入り禁止となり、大学附属の心理臨床センター（相談室）も閉室を余儀なくされました。これまで毎週継続して来談されていたクライアントとのつながりをどのように維持していくかが喫緊の課題でした。この話題提供では、大阪府立大学心理臨床センターの取り組みとして、オンラインセラピーの仕組みを作るまでの過程と、面接形態の変化により治療関係がどのような影響を受けたかをご紹介しますと思います。

### <申し込み方法>

①下記 URL よりアクセスし、申込フォームに必要事項を記入して送信してください。

オンライン学術集会申込フォーム <https://forms.gle/DWfa1QhrkKcLGhHy8>

\* 「オンライン参加のための確認事項」をご一読ください。

\* 申込フォームを利用できない方は、[playtherapy.syukai@gmail.com](mailto:playtherapy.syukai@gmail.com) まで、

件名：「学術集会申込」とし、氏名、所属、臨床心理士番号（必要な方のみ）、確認事項に同意するか否かを記載して、送信してください。

②12月9日（水）までに、参加費 3,000 円を下記口座にお振込みください。

ゆうちょ銀行 〇一八支店（018） 普通 9339118  
一般社団法人日本遊戯療法学会  
記号-番号 10150-93391181

\* 振込みは、参加者ご本人名義でお願いします。ご本人名義での振込みがどうしても難しい場合は、申込時にその旨お知らせください。

\* 納入された参加費は返金いたしません。あらかじめご了承ください。

### <参加方法>

①参加費振込みの確認ができた方に、12月14日（月）～18日（金）にミーティングIDとパスワード、詳細を記載したメールをお送りします。

②当日は参加者確認を行いますので、時間に余裕をもってアクセスしてください。

※この学術集会は、（公財）日本臨床心理士資格認定協会の研修ポイントに申請します。

研修ポイントが必要な方は、申込時に臨床心理士番号を必ず記入してください。

5時間の参加で2ポイントが認められます。長時間の退席等された場合は、認められませんので、ご注意ください。

本学会より日本臨床心理士資格認定協会に直接報告しますので、研修証明書は発行しません。必要に応じて各自で記録していただくなど、ご対応ください。

### <学術集会に関するお問い合わせ>

日本遊戯療法学会学術集会担当 e-mail : [playtherapy.syukai@gmail.com](mailto:playtherapy.syukai@gmail.com)